

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 寿会
施設名	西有馬おひさま保育園
報告者(役職)	田所 せつ子 (園長)
住所・連絡先	神奈川県川崎市宮前区有馬 1-8-6
	☎ 044-855-2525
	E-mail arimakko-smile@muse.ocn.ne.jp

○タイトル (保育計画)

安全・安心・心地よい保育環境を

○主な助成備品

おひるねベッド、キャスター、お昼寝用敷布団、ワンタッチテント

1. 保育計画策定の目的

保育所をとりまく社会状況や子どもの生活環境の変化は著しいものがあります。子ども達は、様々な環境の中でも、個々の発達段階にあわせ、子どもの主体性・自主性が育ち、心豊かに健やかに育つことができる保育環境が必要です。

本園は、川崎市の公立保育園の民営化により新園として平成26年4月に開園しましたが、その建設に当たって、内装材や床材は国産杉素材及びチャフウォール（ホタテ貝殻を混ぜた珪藻土の壁）の自然素材を使用し、さらに天気の悪い日も大勢の子ども達が伸び伸びと元気に遊ぶことができるよう、室内には大きなホールを設けています。また、食材についても国産素材にこだわるなど子ども達のゆたかな感性や健やかな身体を育む保育環境に取り組んでいます。

そして人間にとって、欠かすことのできない睡眠についても、特に成長の著しい乳幼児には年齢に応じた睡眠を保証したいと考えていました。

また、戸外活動の中で、乳児・幼児ともに砂場遊びは、子ども達の創造力や感覚機能を育て、心の解放感にもつながり、大変良い遊びと考えています。集中して遊びこむ子ども達の姿は、成長の喜びを表現しているようにも見え、快適な砂場遊び環境を整えることも必要と考えました。



2. 具体的な実施内容

成長の著しい乳幼児への年齢に応じた心地よい睡眠を保証するためには、室温や明るさ、静けさ、衣服、寝具などの環境を配慮していかなければなりません。特に、直接的に触れる寝具は睡眠との関係で不可欠のものです。

子どもの健やかな成長のため、安全・安心な心地よい睡眠を保証する保育環境を整えることを考え、幼児クラスには午睡用ベッド(コット)を、乳児クラスには軽くて通気性の良い布団を導入しました。

そして、快適な砂場遊びの環境を確保するため、砂場全体を覆うことができる大型テントを設置しました。

3. その成果と評価

・午睡用ベッド (コット)

子どもはいろいろな姿勢で眠りますが、幼児は午睡用ベッド(コット)で眠ることで、仰向けの姿勢がとりやすく、床との間に10センチの間隔があることにより、床のほこりを吸い上げることなく、ハウスダストやアレルギーの軽減につながり、安全で衛生的な睡眠の保証ができ、また、夏場はメッシュシートから涼しい空気を入れ、冬季は毛布等を掛けることにより暖かい空間を作り出し、快適な睡眠が確保できています。

午睡時のコットの準備、片付けは、子ども達2名が1台を協力して行い、互いに協力することは効率が良い事、容易であること、楽しい事などを学ぶ良い機会ともなっています。



・乳児用布団

乳児は床上に並べた布団で眠りますので、隣の子にぶつかることも多いのですが、この人と人との触れ合いが布団ならではの良さとなっており、保育士がそばについて

の寝かしつけにより安心感をもって眠りにつくことができます。また、布団は軽くて通気性が良く、適度な硬度がありますので快眠の導入がしやすくなりました。そして、保護者も職員も重い布団の取り扱いがなくなり、労働の軽減にもなっています。



・ワンタッチテント

子ども達に欠かせない砂場全体を覆うことができる大型テントは夏場の強烈な日差しを遮り、安全で健康的に遊びの継続性、発展性につながっています。

ワンタッチでコンパクトにたたむことができるテントは、簡単に移動ができるため、強風などの荒天時には速やかにしまうことができ、日差しが恋しい冬場のテントを使用しない期間は、コンパクトにたたむことができるので省スペースでの収納が可能となっています。

さらに非常時には、テントは子ども達の一時的な待機場所や荷物置き場など多様な活用が可能であり、また午睡用ベッド(コット)はタンカの代用品にもなり得るため、災害時等いざという時にも役立たせていきたいと考えています。



4. 今後の課題と展望

子ども達の生活習慣は大人の生活に影響を受け、夜型の生活ライフスタイルにより子ども達は睡眠不足になりがちです。睡眠不足は、体力の低下や意欲の減退、食欲不振につながります。

早朝から夕方遅くまで保育園で生活する子ども達はどうしても寝不足がちになり、日中の活動も充分できない状態でしたが、コットを利用していつでも衛生的でこちよい睡眠を保障することで、子ども自身で積極的によく食べよく遊び、よく眠る行動がとれるようになってきています。

年度始めは、近くのお散歩にも疲れた！！
と言っていた子ども達も、一年を経過すると身体を動かして遊ぶ楽しさを覚え、遠出の散歩も楽しみとなり、その中でいろいろな体験が子ども達の意欲にもつながってきています。

今後、更に生活のリズムを見直しながら、心身ともにバランスのとれた発達ができるように保育園として努力をしていきたいと思っています。

これから新年度を迎え、特に新入児は新しい生活環境の中、不安でいっぱいになりますが、園庭に出て砂遊びなどを行うことで気持ちも和らぎ集団生活に慣れてくれると思います。

そのためにも、砂場にあるテントは子ども達が集中して砂遊びを楽しむために大活躍をし、時には近隣の子も加わって更に楽しむことができる遊びの場をつくってくれることでしょう。

今後も、コンパクトに出し入れできるテントはますます大活躍をして、子ども達の遊びを保障してくれることと思います。

